3.3 事前調査に関する記録

関係規程：法第18条の15第３～４項 ／ 法施行規則第16条の８第１～３項 ／ 国マニュアル「２．２．66⑵」、「４．３．５」

解体等工事の元請業者（又は自主施工者）は、事前調査に関する記録を作成・保存するとともに、解体等工事の現場に備え置く必要があります。

<table>
<tr><td>保存期間</td><td colspan="2">解体等工事が終了した日から３年間</td></tr>
<tr><td rowspan="12">記録事項</td><td colspan="2">●解体等工事の発注者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名</td></tr>
<tr><td colspan="2">●解体等工事の場所</td></tr>
<tr><td colspan="2">●解体等工事の名称及び概要</td></tr>
<tr><td colspan="2">●事前調査を終了した年月日</td></tr>
<tr><td colspan="2">●事前調査の方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">●解体等工事に係る建築物等の設置の工事に着手した年月日※1</td></tr>
<tr><td>●解体等工事に係る建築物等の概要</td><td rowspan="6">※2</td></tr>
<tr><td>●解体等工事が建築物等を改造し、又は補修する作業を伴う建設工事に該当するときは、当該作業の対象となる建築物等の部分</td></tr>
<tr><td>●事前調査者の氏名（及び調査者の資格を証明する登録証等の写し）</td></tr>
<tr><td>●分析による調査を行ったときは、当該調査を行った箇所並びに当該調査を行った者の氏名及び所属する機関又は法人の名称</td></tr>
<tr><td>●解体等工事に係る建築物等の部分における各建築材料が特定建築材料に該当するか否か（特定工事に該当するものとみなした場合にあっては、その旨）及びその根拠</td></tr>
</table>

※１　設備の設置の工事着手年月日等から明らかにアスベスト非含有と判明したガスケット又はグランドパッキンがある場合（「３．１　事前調査の方法」の「アスベストの使用が禁止されていた建築物等」参照）は、「建築材料を設置した年月日」の記録も必要です。

※２　建築物等の設置の工事着手年月日等から明らかにアスベスト非含有と判明した場合（「３．１事前調査の方法」の「アスベストの使用が禁止されていた建築物等」参照）は、これらの事項の記録は不要です。

事前調査に関する記録（例）

解体等工事に係る事前調査記録（記載例）

解体等工事の発注者		住所　札幌市中央区北○条西○丁目○-○ 氏名　○○株式会社　代表取締役　○○　○○ （法人にあっては、名称及びその代表者の氏名） 電話番号　XXX-XXX-XXXX
解体等工事の名称及び概要		○○株式会社社屋解体工事
解体等工事の場所		札幌市中央区北○条西○丁目○-○
事前調査を終了した年月日		令和○年○○月○○日
事前調査の方法		■書面　■目視　■分析　□その他（　　） 備考（　　）
解体等工事に係る建築物等の設置の工事に着手した年月日		昭和○年○○月○○日
建築材料を設置した年月日		年　月　日 （設備の設置の工事着手年月日等から明らかにアスベスト非含有と判明したガスケット又はグランドパッキンがある場合に、その建築材料について記録する）
解体等工事に係る建築物等の概要		■建築物 （■耐火　□準耐火　□その他（　　）） （□木造　□ＲＣ造　■Ｓ造　□その他（　　）） □その他工作物
解体等工事が建築物等を改造し、又は補修する作業を伴う建設工事に該当するときは、作業対象の建築物等の部分（事前調査を行った部分）		■解体工事 作業対象は建築物等の全て □改造・補修工事 作業対象は別紙のとおり
事前調査の方法		■書面調査　■現地調査　■分析調査
事前調査者		建築物石綿含有建材調査者等　氏名　○○　○○ 工作物石綿事前調査者　氏名　○○　○○ 調査者の資格を有する登録証等の写し：別紙のとおり
分析調査をした場合	分析調査箇所	別紙　のとおり
	分析者	氏名　○○　○○ 所属機関又は法人の名称　○○分析株式会社
	必要な知識及び技能を有する分析者であることを証明する書類の写し	別紙　のとおり
調査結果・根拠		別紙　のとおり
建築物等の構造上、確認が困難な材料及び場所		別紙　のとおり

備考　1　建築物等の改造・補修対象箇所を示した図面、石綿含有建材の使用箇所と種類を示した図面、分析調査箇所を示した図面、調査結果の関連資料（建材メーカーのアスベスト含有情報、分析結果の報告書、改造・補修記録、現地写真、調査者の資格を有する登録証等の写し、必要な知識及び技能を有する分析者であることを証明する書類の写し等）を添付すること。

2　事前調査に関する記録は、解体工事等が終了した日から３年間保存すること。

令和○年○○月○○日　作成者　○○株式会社　営業部　○○　○○

※　本様式は本マニュアル表紙のURL先からダウンロードできます。

事前調査結果票

事 前 調 査 結 果 票

作 成 例

1 / 1

建築物等名称	○○様邸住宅		建築物等の概要	■建築物	□耐 火　□準耐火　■その他
所 在 地	札幌市中央区北○西○丁目○番○号				■木 造　□RC造　□S 造
設置工事着手	○○年○月○日				□その他　（　　）
竣　工	○○年○月○日	改　修　年　月　日		□工作物	
延べ面積(m²)			用 途	一般住宅	
階　数	2階建			（　　）	

	調査者	調査期間
書面調査	会社名：○○建設株式会社 氏　名：調査 太郎	自：○○年○月○日 至：○○年○月○日
目視調査	会社名：○○建設株式会社 氏　名：調査 太郎	自：○○年○月○日 至：○○年○月○日
分析調査	機関名：株式会社○○分析 氏　名：分析 太郎	自：○○年○月○日 至：○○年○月○日

No. ※1	階数	部 屋 名	部 位	材 料 名 等	調査の実施 ※2	事前調査の結果			石綿非含有 と判断した場合の根拠					石綿含有建築材料		添付資料番号 ※4	備　考
						石綿含有	みなし	石綿非含有	目視	設計図書等	分析	製造者の証明	製造年月日	種類（レベル）※3	使用面積 (m²)		
1		外部	外壁	仕上塗材	済	■								仕上塗材（レベル3）	120	A01	分析結果は別添
			外壁	下地調整塗材	済	■								成形板等（レベル3）	120	A01	分析結果は別添
			外壁（基礎）	モルタル	済			■→			■					A01	分析結果は別添
			軒天	スレート板	済	■								成形板等（レベル3）	20	A01	分析結果は別添
			屋根	トタン	済			■→	■								
			煙突	レンガ	済			■→	■								
			煙突	セメント円筒	済		■							成形板等（レベル3）	5		
2	1	玄関	床	磁器タイル	済			■→	■								
			壁	石膏ボード（＋壁紙）	済			■→				■				A03	製造者HPの非含有情報は別添
			天井	石膏ボード（＋壁紙）	済			■→				■				A03	製造者HPの非含有情報は別添
2	1	廊下、居間	床	木	済			■→	■								
			壁	石膏ボード（＋壁紙）	済			■→				■				A03	製造者HPの非含有情報は別添
			天井	石膏ボード（＋壁紙）	済			■→				■				A03	製造者HPの非含有情報は別添
2	1	台所、洗面所、トイレ	床	ビニル床シート	済		■							成形板等（レベル3）	10		
			壁	石膏ボード（＋壁紙）	済			■→				■				A03	製造者HPの非含有情報は別添
			壁（コンロ付近）	磁器タイル	済			■→	■								
			天井	石膏ボード（＋壁紙）	済			■→				■				A03	製造者HPの非含有情報は別添
3	2	子ども部屋×2	床	木	済			■→	■								
			壁	石膏ボード（＋壁紙）	済			■→				■				A03	製造者HPの非含有情報は別添
			天井	石膏ボード（＋壁紙）	済			■→				■				A03	製造者HPの非含有情報は別添

※1　別紙の詳細図を添付し、No.と一致することが望ましい。　※2　調査できなかった箇所は、その詳細を本紙下部の欄に記載すること。

※3　レベル1、レベル2建材の除去等作業を行う場合、当該作業開始の14日前までに特定粉じん排出等作業実施届出書を発注者が札幌市へ提出すること。　※4　分析を実施した場合、分析結果を添付すること。

調査できなかった箇所の詳細

※　本様式は本マニュアル表紙のURL先からダウンロードできます。

事前調査結果票　別紙　詳細図

事前調査結果票　別紙　詳細図

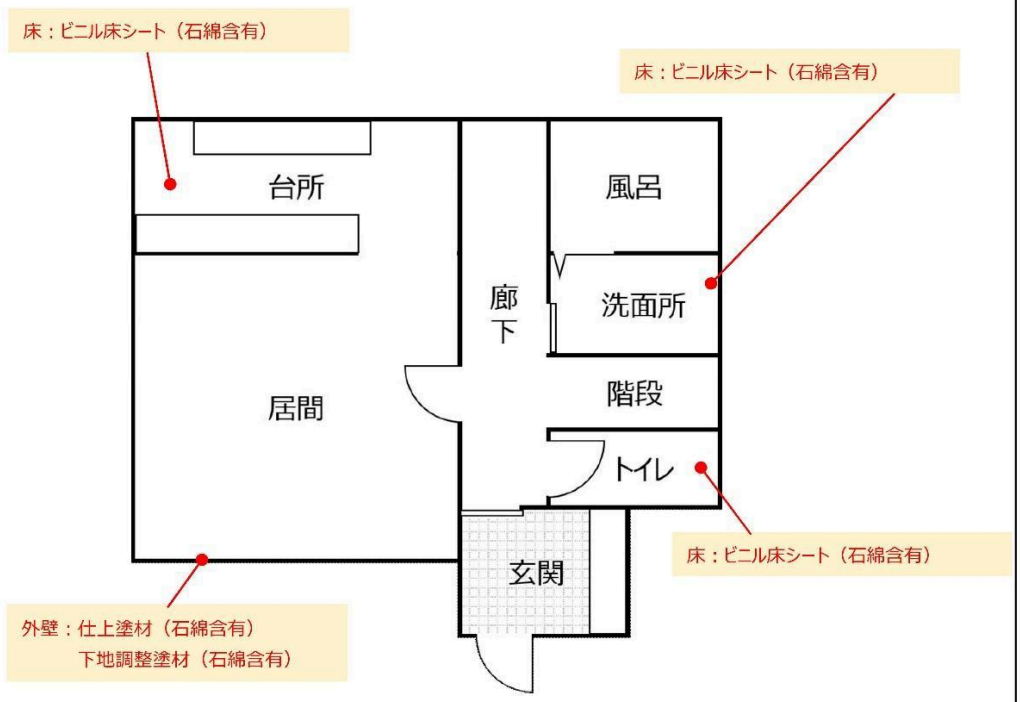
作　成　例

資料番号	2

建築物名称	○○様邸住宅		
階　　数	1	部　屋　名	玄関、廊下、居間、台所、トイレ

石綿含有建築材料	□レベル1建材		劣化度	
	□レベル2建材			
	■レベル3建材	仕上塗材、下地調整塗材、ビニル床シート		
備　　考				

図　面



写真等

※　本様式は本マニュアル表紙のURL先からダウンロードできます。

その他、次の資料などを添付します。

- ●建築物等の改造・補修対象箇所を示した図面
- ●調査者の資格を有する登録証等の写し
- ●関連資料（分析結果の報告書、分析者の資格を有する登録証等の写し、建材メーカーのアスベスト含有情報、アスベスト含有建材データベースの該当ページ、改造・補修記録　等）

関係書類一式（例）

関連資料（分析結果の報告書、建材メーカーのアスベスト含有情報　等）

調査者の資格を有する登録証等の写し

建築物等の改造・補修箇所を示した図面

事前調査結果票　別紙　詳細図

事前調査結果票

解体等工事に係る事前調査記録

解体等工事の発注者		住所 氏名 （法人にあっては、名称及びその代表者の氏名） 電話番号
解体等工事の名称及び概要		
解体等工事の場所		
事前調査を終了した年月日		
事前調査の方法		□書面　□目視　□分析　□その他（　　） 備考（　　）
解体等工事に係る建築物等の設置の工事に着手した年月日		
建築材料を設置した年月日		年　月　日 （設備の設置の工事着手年月日等から明らかにアスベスト非含有と判明したガスケット又はグランドパッキンがある場合に、その建築材料について記録する）
解体等工事に係る建築物等の概要		□建築物 （□耐火　□準耐火　□その他（　　）） （□木造　□ＲＣ造　□Ｓ造　□その他（　　）） □その他工作物
解体等工事が建築物等を改造し、又は補修する作業を伴う建設工事に該当するときは、作業対象の建築物等の部分（事前調査を行った部分）		□解体工事 作業対象は建築物等の全て □改造・補修工事 作業対象は　別紙　のとおり
事前調査の方法		□書面調査　□現地調査　□分析調査
事前調査者		建築物石綿含有建材調査者等　氏名 工作物石綿事前調査者　氏名 調査者の資格を有する登録証等の写し：別紙　のとおり
分析調査をした場合	分析調査箇所	別紙　のとおり
	分析者	氏名 所属機関又は法人の名称
	必要な知識及び技能を有する分析者であることを証明する書類の写し	別紙　のとおり
調査結果及びその判断根拠		別紙　のとおり
建築物等の構造上、確認が困難な材料及び場所		別紙　のとおり

備考　1　建築物等の改造・補修対象箇所を示した図面、石綿含有建材の使用箇所と種類を示した図面、分析調査箇所を示した図面、調査結果の関連資料（建材メーカーのアスベスト含有情報、分析結果の報告書、改造・補修記録、現地写真、調査者の資格を有する登録証等の写し、必要な知識及び技能を有する分析者であることを証明する書類の写し等）を添付すること。

2　事前調査に関する記録は、解体工事等が終了した日から３年間保存すること。

年　月　日 作成者